

令和六年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

- 一 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 二 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 三 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 四 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 五 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 六 この問題用紙は、持ち帰ってください。

一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(奥野克巳『これからの時代を生き抜くための文化人類学入門』による)

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に改め、漢字は読みを平仮名で書け。

問二 空欄 A・B に当てはまる語を次からそれぞれ選び、記号で答えよ。

- A ア 簡素化      イ 記号化      ウ 形骸化      エ 抽象化      オ 定式化  
B ア 閑話休題      イ 四六時中      ウ 縦横無尽      エ 徹頭徹尾      オ 無我夢中

問三 二重傍線部 a、b の意味を簡潔に書け。

問四 傍線部 I 「それ」とは何を指しているか、書け。

問五 傍線部 II について、筆者がこのように述べるのはどうしてか、説明せよ。

問六 傍線部 III について、「進化」という語に「」が付けられているのはどうしてだと考えられるか、書け。

問七 「狩猟採集民」と「農耕民や牧畜民」の時間に対する感覚の違いを分かりやすく示した板書例を書け。

問八 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)に示された科目「現代の国語」に関して、次の各問いに答えよ。

- (1) 標準単位数(2単位：70単位時間)の場合、「読むこと」に関する指導は、何単位時間程度相当するものとされているか、答えよ。
- (2) 本文を「現代の国語」の教材として活用し、2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと(1)にある「目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。」について指導する場合、具体的にどのような言語活動が考えられるか、書け。

二 次の文章は、「中納言」が唐から帰国後初めて内裏に参内し、「帝」と対面した時の様子を描いている。これを読んで、後の問いに答えなさい。

〔浜松中納言物語〕による)

(注) 百歩のほか：：百歩以上離れた所。

陣：：宮中の警備に当たった兵士の詰所。

御方々：：女御・更衣に仕える女房たち。

細殿：：殿舎のひき廂を仕切って女房の部屋とした所。

見し世の春に似たりしほど：：滞在していた唐で経験した春に似た折。中納言が唐で恋に落ちた後の琵琶を聞いたことがあり、それを思い出している。

舞踏：：謝意を込めた拝礼。

問一 二重傍線部ア、イの本文中での意味を答えよ。

問二 波線部 a、b について、それぞれ口語に訳せ。

問三 傍線部①は誰のどのような様子について言っているのか、説明せよ。

問四 傍線部②について、帝が中納言に「御衣」を与えたのはどうしてか、説明せよ。

問五 傍線部③の「奏し」「給ひ」について、それぞれ誰への敬意を表しているか、答えよ。

問六 Aの歌について、「雲居」が持つ二つの意味が分かるようにして口語訳せよ。

問七 Bの歌は、『古今和歌集』に収められた安倍仲麿の歌を踏まえて詠まれたと見ることができる。ここで踏まえられている安倍仲麿の歌を書け。

問八 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)に示された科目「言語文化」において、2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕A 書くことについて指導する際の言語活動例として、具体的にどのようなものが示されているか、書け。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

『世説新語』による)

(注) 周處…人名。 兇彊俠氣…凶暴で専ましいこと。 義興…地名。  
蛟…龍の一種で、よく大水を起こすと言われる。 遷跡虎…あたりを彷徨する虎。  
三横…三つの横暴なもの。 一陸…陸機(平原)・陸雲(清河)兄弟。  
蹉跎…時機を失すること。 令名…名声。

- 問一 波線部 a ~ e の語の読み方を、送り仮名も含め、平仮名(現代仮名遣い)で答えよ。
- 問二 傍線部①、⑤を、それぞれ口語に訳せ。
- 問三 傍線部②について、ある人が周處にこのような依頼をしたのはどうしてか、説明せよ。
- 問四 傍線部③について、周處がこのように思ったのはどうしてか、説明せよ。
- 問五 傍線部④は、「朝聞道、夕死可矣。(朝に道を聞かば、夕に死すとも可なり。)」という一節を踏まえたものであるが、これは誰の言葉とされているか、人物名を書け。また、清河はこの一節を通して周處に何を伝えたか、と考えられるか、説明せよ。
- 問六 傍線部⑥について、周處が自分の行いを改めることができたのはどうしてか、本文全体の内容を踏まえて説明せよ。

国語解答用紙

一枚中の一

受験番号

氏名

(6年)

問一

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二

A		B	
---	--	---	--

問三

a		b	
---	--	---	--

問四

--

問五

--

問六

--

問七

--

問八

(1)	
(2)	

国語解答用紙	二枚中の二	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(6年)

一

問一	ア		イ	
----	---	--	---	--

問二	a		b	
----	---	--	---	--

問三	
----	--

問四	
----	--

問五	養し		給ひ	
----	----	--	----	--

問六	
----	--

問七	
----	--

問八	
----	--

二

問一	a		b		c		d		e	
----	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二	①		⑤	
----	---	--	---	--

問三	
----	--

問四	
----	--

問五	人物名	
----	-----	--

--	--

問六	
----	--

以下はあくまでも解答の一例です。

国語解答用紙	二枚中の一	受験番号	氏名	
--------	-------	------	----	--

(6年)

一 【100点】

問一	①	と	②	要請	③	ざいや	④	境界	⑤	乏
	⑥	飢	⑦	摂取	⑧	系譜	⑨	曆	⑩	備蓄

【②点×10＝⑩点】

問二	A	オ	B	イ
----	---	---	---	---

【⑤点×2＝⑩点】

問三	a	(例) 混沌として無秩序であること。	b	(例) 途切れや継ぎ目がないこと。
----	---	--------------------	---	-------------------

【⑤点×2＝⑩点】

問四	(例) さまざまな儀礼的行為を実施することで、時間の体系を作り出し、カオスとしてある時間を秩序立てて、時間を経験できるようにすること。
----	---

【⑩点】

問五	(例) 狩猟採集民が狩りや採集を行うのはごくわずかな時間であり、それ以外の時間は休むなどしてゆつたりと過ごし、時間に追われるということはないため。
----	---

【⑩点】

問六	(例) 真の意味では進化という概念には該当しないが、より高度な状態に発展していった様子を示す言葉として、一般的で最も分かりやすい語であると判断されたため。(社会が進化するという歴史認識については、一度その考え方を保留しておく必要があるということを示すため。)
----	---

【⑩点】

問七	<p>(例)</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>狩猟採集民</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に獲物を手に入れればよい。</li> <li>↓ 時間に追われることはない。</li> </ul> <p>【時間の感覚は相対的】</p> <p>↕</p> <p><b>農耕民や牧畜民</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に作物や家畜の世話をしなければならない。</li> <li>↓ 時間に追われる。忙しい。</li> </ul> <p>【時間の感覚は絶対的】</p> <p>(現代の私たちと同じ感覚)</p> </div>
----	--

【⑩点】

問八	(1)	10 ～ 20 単位時間程度
	(2)	(例) 内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。(理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。)

【(1) ⑤点、(2) ⑩点】



国語解答用紙	二枚中の一	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

(6年)

二【50点】

問一 ア 数年来(長年) イ 御様子(御態度・御表情)

【③点×2＝⑥点】

問二 a (例)参内なさる御様子は並大抵のものではない。 b (例)管弦の遊びなども興ざめに(おもしろくなく)感じられて

【④点×2＝⑧点】

問三 (例)中納言の、気丈に振る舞うことができない様子。

【④点】

問四 (例)中納言が素晴らしい琴の演奏をしたので、褒美を与えようとしたから。

【④点】

問五 奏し 帝 給ひ 中納言

【③点×2＝⑥点】

問六 (例)あなたと別れて後は、「宮中」で見る「空」の月も(涙で)曇るばかりで、これほど澄んでい  
る月の光も見ませんでしたよ。

【⑥点】

問七 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも

【⑥点】

問八 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。

【⑥点】

三【50点】

問一 a ひやくせい b すなわち c ともにし d まみえて e つぶさに

【②点×5＝⑩点】

問二 ① (例)郷里の人々に思い悩まれる存在であった。 ⑤ (例)ましてやあなたの前途はなおさらまだ大丈夫である。

【⑤点×2点＝⑩点】

問三 (例)同處を虎や蛟と戦わせれば、横暴な三者のうち勝ち上がった一者だけは残るとしても、他の二者は消えてくれるはずだと考えたから。

【⑥点】

問四 (例)自分が行いを改めるには、年齢的にもはや時機を失してしまったと考えたから。

【⑥点】

問五 人物名 孔子

(例)正しい道を学び得る(知る)ことが何より尊いのだということ。

【②点+④点＝⑥点】

問六 (例)郷里の人に嫌われていたことが分かった上に、清河の、前途はまだ大丈夫であり、人は志を立てずにいることを憂えるべきで、名声が世にあらわれないことを憂える必要はないという言葉に納得して力を得たから。

【⑩点】